

2011年度

科目名	ゼミナールⅠ				
担当教員	金川 廣一郎				
配当	教福3			コード	33100
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数	4
授業テーマ	学校教育の現状と国語教育が担っている役割と課題を検証します。この活動を通して卒業研究の道筋を探ります。				
目的と概要	なぜ国語の教育をするのか、何を目的して行われるのか。読解指導に偏らず、話すこと・聞くこと・書くことも中心に据えながら、「国語科」の学習および学校教育現場にて必要なさまざまな知識と技能を身につけることをめざします。				
成績評価法	平常点(25%)・レポート(25%)・課題提出状況(25%)・授業への取り組みの姿勢(25%)				
テキスト	必要に応じてプリントなどで配布します。				
参考書	必要に応じて授業の中で紹介します。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	参加者全員で積極的に研究報告を行い、話し合いを通して互いに高め合ってもらいます。また、知識や情報は、実際に試してみてもそ自分のものになります。ロールプレイや模擬授業的な場を通して、卒業研究に向けた問題意識の高まりを期待します。授業には積極的な姿勢で臨んでください。また、様々な課題を課します。時間をうまく見つけてやり遂げて下さい。				
講義計画					
1. オリエンテーション/ゼミで学びたいことについて 2. 今、学校で起きていること（新聞やテレビなどの報道から） 3. 今、学校で起きていること（自らの体験などから） 4. 教育実習に向けて(1) 5. 教育実習に向けて(2) 6. 教育実習に向けて(3) 7. 教育実習に向けて(4) 8. 図書館等の文献検索 9. 国語の授業についての基本的な技能（板書） 10. 国語の授業についての基本的な技能（板書） 11. 国語の授業についての基本的な技能（発問の技術） 12. 教育実習を終えて 13. 教育実習から学んだこと(1) 14. 教育実習から学んだこと(2) 15. 研究テーマについて(1) 16. 文献講読と実践(1)(授業方法) 17. 文献講読と実践(2)(言語指導) 18. 文献講読と実践(3)(教材研究) 19. 文献講読と実践(4)(ワークシートとノート指導) 20. 文献講読と実践(5)(板書) 21. 研究テーマについて(2) 22. 研究テーマについて(3) 23. 教育現場で求められている資質(1) 24. 教育現場で求められている資質(2) 25. 教育現場で求められている資質(3) 26. 卒業研究の進め方 27. 授業技術向上のための模擬授業(1) 28. 授業技術向上のための討議会(1) 29. 授業技術向上のための模擬授業(2) 30. 授業技術向上のための討議会(2)					